

平成24年第1回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	6番	大塚あかね (60分)	<p><b>1. 市民葬儀について</b></p> <p>(1)2月15日に消費生活センターで開催された「お葬式のあれこれ講座」に対する参加者の反応と評価について。</p> <p>(2)葬儀に関する相談について、対応と対策をどのようにとってきたのか。</p> <p>(3)市民サービスの一環として、市民葬儀を制度として取り入れてはどうか。</p> <p><b>2. 羽村市の農業政策について</b></p> <p>(1)羽村市農業振興計画について</p> <p>①平成13年に策定された計画の検証と分析をどのように行ってきたか。</p> <p>②新たな計画の策定（改訂）の予定と方針は。</p> <p>③農業経営基盤強化促進法に基づく基本構想との関係をどのように図るのか。</p> <p>(2)農地保全と利用促進について</p> <p>①都市計画施策と農地の保全政策をどのように連携し、農地を計画的に維持していくのか。</p> <p>②制度、施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地化農地の保全についての具体策を伺う。</li> <li>・生産緑地の再指定についての見解を伺う。</li> </ul> <p>(3)市民農園について</p> <p>①市民農園の整備をどのように図っていくのか。</p> <p>②農業指導員の配置を検討してはいかがか。</p> <p>(4)農業経営支援について</p> <p>①後継者育成と新たな担い手づくりをどのように図っていくのか（後継者組織、女性農業者支援を含む）。</p> <p>②C S A（地域で支える農業）について検討してみたいか。</p> <p><b>3. 学童クラブの開所時間の延長について</b></p> <p>(1)実施計画では25年度からの延長と計画されているが、働く保護者からの要望に応え、学童クラブの開所時間延長は24年度内に実施してはどうか。</p>	3月1日
2人目	10番	小宮國暉 (60分)	<p><b>1. 羽村駅西口地域の活性化に向けて</b></p> <p>(1)羽村駅西口のにぎわいの創出と集客力のアップについて</p> <p>①昨年、夏まつりに合わせて、羽村駅西口において羽村市商業協同組合と本町西口商店会が共催でイベントを行ったが、東口と一体化した夏まつりとして、暫定整備が進む中、会場区域を拡大し、西口ならではの催しや地元商店、はむら名産品の物販、飲食、地元地域町内会、団体等の連携協力をえて、企画し盛り上げていくことはできないか。</p>	3月1日

- ②同じく羽村市商業協同組合と本町西口商店会が共催で隔月に羽村駅西口パトロールセンター併設の施設でイベントを実施しているが、さらに農業団体との連携を図るなどして、同施設や駅前での定期的なイベントはできないか。
- ③これから実施される「花と水のまつり」をはじめ、羽村には四季を通じて市外から多くの方が訪れている。また、来年には、国体も開催されることから、観光事業と商業との連携を図り、市のPRに努めることが必要と考えるがいかがか。
- ④西口では、4月春まつりの時に恒例となっている市内神社の“「山車」の曳き合わせ”が催され、多くの市民が楽しむことができる。今年は関係者のご尽力により二つの神社の「山車」が加わり、市内全部6基が出そろい一同に集まる予定と共に、関係者より市に場所の確保等の要請があると聞いている。2年前よりさらに駅前暫定整備が進んでいる中、実現にむけ会場全体計画はどのように進められているか。また定着化したこの催しを“はむらの郷土文化・伝統芸能”として市民への広報、マスコミ等へのPRをしていくことも重要と考えるがいかがか。

## 2. 高齢者福祉・医療の充実について

### (1) 高齢者福祉バスについて

高齢者福祉バスについては、市は現行の大型バスをリースして老人クラブの事業や高齢者福祉事業等に活用してきた。その大型バスもディーゼル規制により平成24年度中に使用できなくなると聞いている。民間の活力を導入し効率的福祉サービスをねらいとした今後の高齢者福祉バスについてどのように見直していくのか。

### (2) 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

平成23年9月定例会において「高齢者医療の充実に向けて」と題し、高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について質問し、「実施に向け検討していきたい」との答弁を受けている。実施方法としてはどのように行うのか。

### (3) 前立腺がんのPSA検査について

平成23年9月議会の一般質問で、「前立腺がんの早期発見を促進し、検査費用の低減を図るために、特定健診時の血液検査を実施する際、検査項目に追加できないか」と質問したが、市長から「希望者の申し出により自己負担で実施することについて、羽村市医師会と協議をしていく」との回答があった。平成24年度の特定健診からPSA検査を同時に行うことは可能か。

### (4) ジェネリック医薬品の利用促進

平成23年3月議会の一般質問で「健康保険税アップの歯止めをかける効果策のひとつとして、ジェネリック医薬品の利用促進や勧奨通知など、その徹底を図るべきではないか」と質問

3 人目

12 番

石 居 尚 郎  
(60 分)

したが、市長から「先発医薬品から後発医薬品に切り替えた場合、自己負担額がどの程度軽減されるかお知らせする差額通知を、平成 24 年度から導入する方向で検討していきたい」との回答があった。平成 24 年度から実施するのか。また、どのような内容か。

### 3. 特別支援教育の充実に向けて

- (1) 羽村第一中学校に特別支援学級が開級されるが、その目的は何か。今後の生徒数の推移は。
- (2) 特別な支援を要する児童・生徒は小中学校の特別支援学級、通級指導学級それぞれ何名いるのか。また通常の学級には支援が必要な児童・生徒がいないのか。
- (3) 通常の学級にいる特別支援教育が必要な児童・生徒への支援の現状と課題は何か。
- (4) 平成 25 年度に羽村第三中学校に通級指導学級を設置するとのことだが、今後の特別支援学級の設置計画を含め、特別支援教育をどのように推進しようとしているのか。
- (5) 関係部局、機関等との連携体制はどのようになっているか。

### 1. 防災・減災対策の早期対応を

- (1) 近年、地震の頻度が急激に増してきているとの気象庁の報告がある。また、首都直下型地震発生リスクが高まっていると指摘する専門家もいる。こうした地震活動期に、羽村市として、防災・減災対策にどのような姿勢で臨むのか。防災・減災対策に対する危機認識とその対応を聞く。
- (2) 地域防災計画、行政としてのBCP（事業継続計画）、企業のBCP推進など、防災・減災対策となる計画は、どのような行程で実施されていくのか。
- (3) 静岡県は、2007 年に避難所を運営する主体者となって、災害発生の初期段階で、実際に想定される事態に対応していくための、避難所運営ゲーム、通称HUG（ハグ）を開発した。この避難所運営を模擬体験できるシステムは、いまや全国に広がりその評価は高まっている。羽村市として、このシステムの導入を検証、検討して、普及を図ってはいかがか。
- (4) 東京都は、本年 3 月を目標に、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域の区域指定を行う予定としている。土砂災害が予想される地域に対し、適応できる区域でフォレストベンチ工法の工事により、安全対策を進めていってはどうか。
- (5) 文部科学省は、平成 24 年度予算案において、新規事業として「実践的防災教育総合支援事業」を盛り込んだ。これには、全国から約 1000 校のモデル校を募り、支援を実施する予定である。羽村市として積極的にこの制度を活用し、防災教育を進めていく考えはないか。

3 月 1 日

4人目

3番

中嶋 勝  
(60分)

## 2. スポーツを通じた観光振興の推進を

- (1) 近年、スポーツを通じた観光振興が注目されている。いわゆるスポーツツーリズム、スポーツコミッションである。これらの取り組みに対する羽村市の認識と、その導入についての考えを聞く。
- (2) 昨年12月に羽村市内で実施された、日本初となる第1回「日本24時間インドアウルトラマラソン」をどう評価しているか。
- (3) 「24時間インドアウルトラマラソン」は、本年12月再び、羽村市内で実施予定と聞いている。希少価値のあるこのイベントを、羽村市に定着させ、冬の観光事業・地域の活性化へと発展させていくために、このイベントを支援してはどうか。
- (4) その際、このイベントを国体のオープニングとして位置づけ、来年開催予定の国体につなげて、国体を盛り上げていく考えはないか。

## 3. 特別支援教育の推進を

- (1) 東京都特別支援教育推進計画の第三次実施計画では、各学校に特別支援教室を設置していくなど新たな施策が盛り込まれている。この計画に伴い、羽村市としては、どのように展開していくのか。今後数年間の実施計画とその行程を示してほしい。また、平成24年度に実施予定の具体的施策と内容はどのようなものか。
- (2) 羽村特別支援学校との連携は、羽村市の特別支援教育にどのように生かされているか。
- (3) 校内通級の効果、有効性については、どのように認識しているか。
- (4) ユニバーサルデザインの授業改善、環境改善を急ぐべきではないか。
- (5) 特別支援教育の充実は、個別対応の充実とも言える。そのため人的配置が大変重要な要素となる。人材の確保と配置をどのように取り組んでいく考えか。
- (6) 特別支援教育を推進するにあたり、各関係機関との連携強化が大切であり、これまで、その要となる機関の設置を提案してきた。羽村市としてこの必要性をどう認識しているか。また、それを具体的に進める考えはあるのか。
- (7) 個々の発達課題に対応した特別支援教育はどのように実施されていくのか。

## 1. 「心の豊かさ」と「幸福度」について

- (1) 基本構想にある真の豊かさ（心の豊かさ）とは、具体的にどういうことか。
- (2) 平成22年に行なわれた市政世論調査から、市民の心の豊かさを察するとしたらどのように考えられるか。
- (3) 市長はブータン王国の「GNH・国民総幸福量」についてどう思うか。

3月1日

5 人目

4 番

富 永 訓 正  
(50 分)

- (4) 「心の豊かさ」と「幸福度」との関係をもどくように考えるか。
- (5) 今後、幸福度の研究をして、市政運営に反映させる考えはあるか。

## 2. 雇用対策について

- (1) 平成 23 年度に実施した雇用対策の年代別施策と成果について
  - ① 若年層の雇用対策はどうだったか。
  - ② 中高年層の雇用対策はどうだったか。
- (2) 市内企業の雇用の現状と課題・問題点をどう分析しているか。
- (3) 今後の関係機関との連携強化を具体的にどう進めるか。
  - ① ハローワーク青梅との連携について
  - ② 東京しごとセンター多摩との連携について
  - ③ 商工会等との連携について
- (4) 平成 24 年度の国および都の雇用対策事業の活用はどういうものがあるか。
- (5) 企業と求職者の情報のズレが問題になっているが、そのズレをなくすマッチングについて
  - ① 企業は、就職説明会等の場や企業を PR する場をさらに望んでいるがいかがか。
  - ② 求職者は、企業の雇用情報の充実を望んでいるがいかがか。
  - ③ それら情報の周知拡充を望むがいかがか。

## 3. 財政対策について

- (1) 「第 2 次 緊急経済財政対策」でどのような成果があったか。
- (2) 2 回にわたる羽村市版事業仕分けの結果、スクラップアンドビルドの取り組みはどうか。
- (3) 今後の公共施設の特定規模電気事業者（P P S）との電気契約見直し計画はあるか。
- (4) ムダに点灯している市内街路灯があるが、点灯・消灯の見直しで省エネができないか。
- (5) 街路灯電気料金の一括払い契約で料金の削減ができないか。
- (6) 被災者一時宿泊所の見直しについて
  - ① 何カ所あり、それらの今年度の利用状況はどうか。
  - ② 見直しにより、民間のアパートや借家で対応できるのではないか。
  - ③ 全て売却した場合の予想金額はいくら位になるか。
- (7) 今後の市有財産の売却を考えているものはあるか。

## 1. 放課後子ども教室と、学童クラブの現状と今後について

- (1) 放課後子ども教室の現状と今後について
  - ① 登録児童数と平均利用児童数は。
  - ② 指導員、ボランティアの方、職員等の担当スタッフの体制は。

3 月 1 日

- ③現在までに、利用者からの意見・感想・要望等はどのようなものが寄せられているか。
- ④東小以外での今後の開室計画を聞く。
- (2)学童クラブの現状と今後について
  - ①現在の待機児童数は。
  - ②指導員、職員等の担当スタッフの体制は。
  - ③現在までに、利用者からの意見・感想・要望等はどのようなものが寄せられているか。
  - ④現在までに、事故や苦情等、トラブル事象はどのようなものがあるか。
  - ⑤全体的に最低限の人員配置で現実的に厳しい運営となっているが、子どもの安全への配慮からも余裕を持った人員配置が必要と思われるが、いかがか。
- (3)地域コミュニティの基盤である学校を活用した放課後子ども教室だが、放課後子ども教室に加え、学校内の空き教室等を活用した学童クラブにしていく考えはないか。

## 2. 買い物に不便を感じている方への買い物環境の充実について

- (1)買い物に不便を感じている方に対する支援のあり方をどのように考えているか。
- (2)買い物支援サービスの立ち上げを検討しているNPO法人や小売店、商店会等に対する支援を、市はどのように行っていくか。
- (3)買い物支援サービスが求められているが、環境面も配慮した電気自動車や電動アシスト自転車等を活用した買い物代行サービスなどの検討をしてはどうか。

## 3. 動物との共生について

- (1)動物との共生について
  - ①市は、ペットが人に与える効果、動物愛護についてどのように考えているか。
  - ②犬猫のしつけや、飼い主のモラル向上を啓蒙する勉強会、セミナーや懇談会の開催を積極的に行ってはどうか。
- (2)飼い主のいない猫について
  - ①ペットとしての猫、飼い主のいない猫の個体数を市は掌握しているか。
  - ②飼い主のいない猫について市はどのように考えているか。
  - ③飼い主のいない猫の個体数を減少させ、猫のふん尿やごみ荒らし等を防止し、地域環境の美化を図るため、飼い主のいない猫の去勢・不妊手術を実費で行っているボランティアの市民に対して、市はどのように考えているか。
  - ④飼い主のいない猫の去勢・不妊手術を行う市民に対して、それにかかる費用の助成をしてはどうか。
- (3)市内の犬について
  - ①ペットとしての犬の頭数、予防接種済みの犬の頭数は。

6 人目

7 番

西 川 美佐保  
(60 分)

- ②現状、伝染的な犬の病気はどのような病気があるか。
- ③犬は人への癒し効果も大きく、高齢者の方が我が子のように可愛がる光景をよく目にする。そのような家族同様な犬と飼い主がともに楽しめるドックラン設置要望の声を、市民の皆さまからよく聞くが、ドックランを設置してはどうか。

3 月 2 日

## 1. まちの活性化と絆を深めるまちづくり

(1) 多摩国体も視野にいれた商店の活性化と市民とのマッチングについて

- ①観光協会が開発されたお菓子や、B級グルメ等での新商品を市内商店と連携し、多くのお店で取り扱い、羽村出身のアーティストなどとのコラボでインターネットの動画配信を活用した広報等、商品を効果的に売り込んではどうか。
- ②新商品やその他の羽村の名産を、市ホームページから観光協会のホームページへリンクでき、商品を写真等で紹介できるよう取り組んではどうか。
- ③市内商店独自のポイント制度を導入し、加盟店での買い物で使え、カードなどにポイントが溜まれば、割引や商品が当たるなどの取り組みを推進するため応援をしてはどうか。
- ④2月 11 日に開催されたマルコン青梅主催の「おざくでナイト」の街コン・合コンの小作駅周辺の商店街活性化事業についての反響と、今後どう生かしていくのか伺う。

(2) 高齢者の方と乳幼児を抱える親子とのふれ合い事業を、町内会館等を活用し可能な所からモデル事業として実施してはどうか。

(3) 防災のための絆づくり

- ①今後の災害対策を視野に入れた、自主防災組織の強化と（仮称）防災隣組の構築を今後どのように築いていくのか。
- ②災害時の避難所運営をスムーズに図るために、自主防災組織と災害時要援護者でどのような連携を図るのか伺う。

## 2. インフルエンザ予防対策と医療費削減について

(1) インフルエンザなどの予防対策について

- ①インフルエンザは口腔ケア、舌のブラッシングなどで発症率が 10 分の 1 に激減すると言われている。歯科医師、保健担当等と連携し学校など市内全体で取り組んでどうか。
- ②インフルエンザ等の予防のため、佐賀県有田町のように、学校給食等で、免疫力を高める乳酸菌飲料等を活用した取り組みを行ってどうか。

7 人目

8 番

橋 本 弘 山  
(60 分)

- (2) 後発医薬品（ジェネリック）の推進について
- ① 後発医薬品の目標は「24 年度中に 30% 以上」に対し、現在何パーセント位活用され、何パーセント位まで推進できると考えているのか伺う。
  - ② 後発医薬品に切り替えた場合、医療費がどれだけ安くなるか「差額通知」を出す取り組みは、医療費削減など、どのような効果が期待できるか、いつからスタートするのか伺う。
  - ③ 医師のジェネリック不可との所見がない限り、患者の申し出により、薬剤師の判断で新薬から後発医薬品へ切り替えられるということ、市民に広報してはどうか。

### 3. 自転車対策について

- (1) 自転車の事故防止のために、これまで各中学校の交通安全教室の中でスタントマンの活用を図られているが、近隣への呼びかけや参加状況はどうだったのか伺う。
- (2) 自転車免許制度を子どもと高齢者まで拡大するとともに、交通安全教室を、自転車の交通違反や罰則規定も含め、子どもから高齢者まで交通ルールを学ぶ機会として活用してはどうか。
- (3) 市として自転車販売業者に対して「自転車損害保険の加入促進」を努力義務にするなど、自転車保険（対人、対物賠償）の加入推進を図ってはどうか。
- (4) ちょこっと共済の加入率は近年上がっているのか伺う。
- (5) 歩道のある車道（新奥多摩街道・産業道路や市役所通りなど）の左端にカラー舗装または、自転車ナビマーク等を導入して、自転車が安全に通れる道を今後計画的に明示してはどうか。
- (6) 駅前等、放置自転車対策として歩道に子どもの描いた絵を特殊シートで貼って、放置が劇的に減った取り組みをしている所があるが、市の考えを伺う。

### 1. スポーツセンターの大規模改修に伴う休館中の対応について

- (1) 改修工事の詳細な工事内容と日程は。
- (2) 現在の利用登録団体について
  - ① 社会教育関係団体の数と人数は。
  - ② 社会教育関係団体以外の市内団体の数と人数は。
  - ③ 社会教育関係団体以外の市外団体の数と人数は。
- (3) 現在の一週間の稼働状況は（昼間）。
- (4) 現在の一週間の稼働状況は（夜間）。
- (5) 現在の小学校体育館利用の団体数と人数は。
- (6) 現在の一週間の稼働状況は（小学校）。
- (7) 現在の中学校体育館利用の団体数と人数は。
- (8) 現在の一週間の稼働状況は（中学校）。

3 月 2 日



8 人目

5 番

鈴木拓也  
(60 分)

- (9) 工事期間中の代替の施設を考えているか。  
① 近隣の市との連携は。  
② 小・中学校施設の活用は。  
③ 羽村市の公共施設の活用は。  
④ 民間企業の施設の活用は。  
⑤ その他の施設の活用は。  
(10) 利用者にはいつ、どのような説明をされるのか。  
(11) 半年間の休館による対策をどのように考えているのか。

## 2. さらに親しみやすい「広報はむら」について

- (1) あらためて広報紙発行の意義、目的は。  
(2) 現在のページ数や月 2 回の発行回数で目的は達成されているか。  
(3) 現在、何人の職員で編集作業がされているのか。  
(4) 「広報はむら」への意見・要望などを聞く機会はあるか。  
(5) どのくらいの市民が目を通して把握しているか。  
(6) 広報紙としてさらなる充実が必要と考えるが市の見解は。  
(7) 今後の市民（読者）への工夫や配慮、取り組みについて。

## 3. 平成 24 年度、羽村市予算編成について

- (1) 平成 24 年度当初予算編成において、特に留意した点とこの予算の特徴はなにか。  
(2) 平成 24 年度予算を取り巻く経済状況をどのように認識しているのか。  
(3) 平成 24 年度税制改正大綱による予算編成への影響はあったのか。  
(4) 国の予算編成の動向との関連、影響はどの程度あったのか。  
(5) 東京都の予算編成の動向との関連、影響はどの程度あったのか。  
(6) 今後の公債費及び市債残高の推移の見通しは。  
(7) 今後の基金及び基金残高の推移の見通しは。  
(8) 新年度予算執行に向けての市長の所感は。

## 1. 生涯学習が豊かに広がる羽村にするために

- (1) ゆとろぎでの活動について  
① 市民の会への補助金が少なくなっているが、十分に活動は保障されているか。市民の会の活動について、また、補助金について、どういった声があげられているか。  
② ゆとろぎイベントガイドは隔月発行だが、もっと頻度を増すことが必要なのではないか。  
③ サークル活動が豊かに発展するために、市はどのような役割を果たしているか。専門職である社会教育主事が配置され、役割を担っているか。  
④ 1 月に大ホールで行われたロックバンド・ライブには多くの若者が参加していた。こうした若者をターゲットにした企画や講座などが少ないとの指摘がある。充実が必要ではないか。

3 月 2 日

- ⑤若者の利用を促進するために、会場使用料に学割制度などを設けたらどうか。
- ⑥交流の広場はあまり利用されていない。雨天でも使用できる屋根の設置、「利用可能」の広報をもっと積極的に行うべきではないか。

(2) 地域会館での活動について

- ①地域会館は、地域活動と同時に、生涯学習の場と位置づけられているか。
- ②地域会館の利用率の平均は何%か。最も低い会館、また、部屋の利用率は何%か。
- ③市のホームページには、地域会館についての情報が乏しい。充実が必要ではないか。
- ④少なくとも中学校区に一つの会館には、職員を配置するなどし、地域活動・生涯学習の拠点とするべきではないか。
- ⑤建物維持補修計画の中では、より利用しやすい地域会館づくりを行うべきではないか。

**2. 貧困ビジネスと羽村市**

- (1)市の生活保護受給者のうち、現在、無料低額宿泊所で暮らす人数は何人か。所在地はどこか。人数の5年前からの推移はどうか。
- (2)どういったケースで、市は、無料低額宿泊所の利用を促すことになっているか。
- (3)無料低額宿泊所では、利用料をどのように徴収しているのか。また、利用料が高く、ほとんど本人の手元にはお金が残らない場合が多いと聞くが、実態はどうか。
- (4)入所者に対しての自立にむけた指導はきちんとされているか。訪問の頻度はどうか。
- (5)住まいを失った要保護者には、市内にアパートを借り、自立にむけた支援をすることを基本とすべきだと考えるが、どうか。

**3. 小中一貫教育はどうなる**

- (1)一中、二中学区での説明会にはそれぞれ何人の参加があったか。そのうち保護者の参加はどうだったか。出された意見にはどのようなものがあり、それに対しどう回答がなされたか。実施計画にはどう生かされるのか。
- (2)前回の議会で、乗入れ授業の際、教員は徒歩または自転車で移動すると、答弁があった。たいへん非効率で無理があると考えるが、自動車を準備するなどの対応が必要ではないか。

**1. 地域経済を活性化する施策について**

- (1)市が行っている市内企業・商店への支援活動の成果をどのように分析・把握しているのか。
- (2)現在の農商工連携の推進による事業の状況は。
- (3)コミュニティビジネスの推進をどのように図っていくのか。
- (4)地域経済を活性化する新しい施策の計画は。

9人目

2番

富松 崇  
(40分)

3月2日

10 人目

16 番

船 木 良 教  
(50 分)

(5) 第 68 回国民体育大会での市内企業・商店のビジネスチャンスの創造についてどのように考えているのか。

**1. 生活環境整備と地域経済の活性化政策について**

- (1) 小作駅周辺で進んでいる風紀の乱れに関する現状は何が問題でどうすべきと捉えているか伺う。
- (2) 羽村市と福生警察署・青梅警察署との連携を強化し、取り締まりに関して条例化することは、限られた警察力を問題性の高い場所・時間帯・対象者などに対し、集中的に警察活動を行うことができる仕組みづくりであり、効果的・効率的な問題解決課題と考える。市として条例化についてどのように考えるか伺う。
- (3) また市民、通行人に付きまとう客引き行為をはじめ、様々な迷惑行為を取り締まる条例化は地方分権時代における自治体独自の課題を解決するための立法能力に関わることである。そこで客引き行為を禁止する条例化（立法化）はいかがか伺う。
- (4) 諸問題の発生に関して、店舗を貸す側・借りる側、客側の認識と行政による指導の徹底も必要と考えるが、市として一体的な取り組みをどう考えているか伺う。
- (5) 羽村市のここ数年の経済の動向と地域活性化についてどのように分析し、どうすべきと考えているか伺う。

3 月 2 日

11 人目

17 番

門 間 淑 子  
(60 分)

**1. 電気料金値上げへの対応は**

- (1) 電気料金値上げで、市の料金はいくらになるか。
- (2) 東京電力から詳細な説明はあったか。
- (3) 値上げに対し、羽村市はどのように対応するのか。
- (4) 東京電力に対し、料金体系や電力消費（生産部門、家庭部門など）の情報開示を求めるべきではないか。
- (5) P P S 電力購入に対する今後の見通しはどのようなものか。
- (6) 電気料金値上げが市内企業に及ぼす影響は調査されているか、相談は寄せられているか。

**2. 読書活動推進のための環境整備を**

- (1) 学校図書館の利用について
  - ① 子どもの読書活動推進計画では、未読者の小学生の割合は、21 年度の調査で 8.2%から 12.7%に増加したとある。課題はどこにあると分析したか。
  - ② 東京都では、各年代の未読者率を、25 年度には 19 年度比で半減させることを目指している。自主的に本に親しむ子どもが増えることが望ましいが、21 年度調査以来、羽村市ではどのような取り組みがなされたか。

3 月 2 日

12 人目

15 番

水 野 義 裕  
(60 分)

- ③日本語支援が必要な子どもに対し、学校図書館に母国語図書は整備されているか。
  - ④図書の整備・更新を進め、子ども達の図書利用を高めるため、学校図書館司書を常時配置してはどうか。
- (2)羽村市図書館の利用について
- ①本館・分館ともに、一般図書・児童図書ともに貸出数の減少が続いているが原因をどのように分析しているか。
  - ②分館の図書の更新は、どのようになされているか。
- (3)羽村市子ども読書活動推進計画（改訂版）の計画年度は平成 23 年度までとなっているが、新たに策定されるのか。

### 3. 食品の放射性物質測定機の設置を

- (1)12 月議会でも提案したが、消費生活センターに食品の放射性物質測定器を設置して、誰でも、有料で、気軽に測定できるようにしてはどうか。
- (2)市内農産物の出荷前測定にも利用してはどうか。

### 1. 危険な空き家対策を立案すべきではないか

- (1)その後空き家について調査したか。調査したなら結果はどうか。
- (2)市内の危険な空き家について、市民から苦情などは無いか。
- (3)環境基本計画に盛り込むことや、条例の制定など対策を検討すべきではないか。

### 2. さらなるバリアフリー化を

- (1)公共施設（建物）のバリアフリー化は、どんな項目について、どこまで進んでいるか。完了している施設数、未完の施設数は、また今後の計画はどうか。
- (2)地域会館について
  - ①トイレの出入り口のバリアフリー化の現状はどうか。
  - ②トイレの洋式化はどこまで進んでいるか。
  - ③和式トイレには取っ手を取り付ける必要があると考えるがいかがか。
- (3)学校の洋式トイレを計画的に増やすべきではないかと考えるがいかがか。

### 3. 3.4.12 号線の暫定整備計画を明確に

- (1)暫定整備計画の工程はどうなっているか。いつまでにどんな作業を行うのか。
- (2)計画の概要はいつごろ、誰に対して、どのように周知するのか。
- (3)とくに子どもたちの通学路の安全にも大きな影響を与えると考えるが、それに対してどのような対策を講じる予定か。

### 4. 学校支援地域本部（仮称）に期待するものは何か

- (1)この本部の理念・目的はどんなものか。
- (2)中学校区単位に設置する根拠は何か。

3 月 5 日

(3) P T A、地区委員会、学校評議員会など従来の組織との役割分担はどうかと考えているか。

### 1. 首都圏直下型地震の減災対策について

- (1) 学校、保育園、学童クラブ、公共施設に窓ガラスの飛散防止フィルムを設置すべきではないか。
- (2) 防災備蓄倉庫の内容の拡充について
  - ① スマートフォン・携帯電話対応ソーラー充電器を追加してはどうか。
  - ② 災害時用救助工具セットを各町内会に補助金で設置するよう呼び掛けるべきではないか。
  - ③ マスク、消毒液、ラップなど感染症予防用に追加すべきではないか。
  - ④ 防災備蓄倉庫にソーラー発電の照明を設置してはどうか。
  - ⑤ 投げて消すタイプの消火器を追加してはどうか。
- (3) 災害応急時の医療救護について、助産にあたる救護はどのような対応を考えているか。
- (4) 非木造の戸建住宅・共同住宅・特定建築物を対象として耐震助成を実施すべきではないか。
- (5) 地域防災計画の見直しについて
  - ① 羽村市の計画の見直しはいつごろ完了する予定か。
  - ② 見直し以前に、首都圏直下型地震発生の可能性をふまえて対策に着手すべきではないか。
- (6) 立川断層や首都圏直下型地震について市民向けの学習会などを行うべきではないか。

### 2. 羽村で頑張る若者支援について

- (1) 3 月から昭島市で開設される「就職情報室」を、羽村市においても、市の既存の施設を利用し設置すべきではないか。
- (2) 若者を対象としたにぎわいづくりのための事業について
  - ① 若者交流の機会を設ける活動をする団体から企画提案を募集してはどうか。
  - ② イベント開催、交流活動、情報発信などを公募し、優れた企画に補助金を交付してはどうか。
- (3) 商店街等の空き店舗を賃借する場合に、その賃借料や開店費用の一部を補助する支援事業を実施してはどうか。

### 3. 住宅リフォーム助成の実施について

- (1) 羽村市でも実施されていた住宅リフォーム助成は、なぜ廃止されたか。
- (2) 助成制度に経済効果があったと考えられるか。
- (3) 助成制度の P R には、どのように取り組まれていたか。
- (4) 利用者数を増やすには、どのような点を改善すべきだったと考えられるか。
- (5) 前回の教訓を生かして、全国に広がっている住宅リフォーム制度を参考に再度実施すべきではないか。

14 人目	11 番	<b>馳 平 耕 三</b> (60 分)	<b>1. 放課後子ども教室の現状と今後の役割を問う</b> (1) 現在、東小学校で行われている放課後子ども教室を利用している子どもの数と指導にあたる人の数はそれぞれ 1 日平均何人か。 (2) 利用者が少ないように思えるがその原因は何か。 (3) 放課後子ども教室では、見守りや自主的な活動を行うとあるが、現状では何に重点を置いて活動しているか。 (4) 現在、東小学校では週 2 回、約 1 時間強実施しているが、今後、他の学校でも同じような日程・時間を考えているか。 (5) 現在、東小学校で、放課後子ども教室を利用している保護者や指導にあたっている人から意見を聞く会議は実施されたか。また、そうした意見をどこでどのように集約する考えか。 (6) 都内では、学童クラブの役割の一部を果たしている放課後子ども教室が増えてきている。羽村市では、放課後子ども教室と学童クラブの役割のすみわけをどのように考えているか。 (7) 今後、小学校 7 校に広げた場合、指導者が不足するおそれがあるがどう対応する考えか。 <b>2. シラバスの策定と「学び合い」の推進を急げ</b> (1) シラバスについて ① 小学校 7 校、中学校 3 校のうち、24 年度、何校でシラバスを策定する予定か。 ② シラバス策定の障害となっているものは何か。 ③ 高校入試に向けて、入試に向け、特別な対応をする考えはないか。 ④ 合唱祭の実施時期を秋に戻し、入試直前に残って練習するような事態を回避すべきだと考えるが、各中学校ではどの時期に合唱祭を実施する考えか。 (2) 児童・生徒による「学び合い」について ① 羽村市では「学び合い」授業について検討しているか。また、こうした授業を実際に見学したことはあるか。 ② 「学び合い」授業を導入している学校からは、その成果が報告されているが、今後、導入を予定している学校はあるか。また、教育委員会は、この児童・生徒による「学び合い」についてどのように考えているか。	3 月 5 日
15 人目	9 番	<b>山 崎 陽 一</b> (60 分)	<b>1. 区画整理撤回要求 第 20 弾</b> (1) 住民無視の区画整理・第 2 次換地設計（案）について聞く。 ① 現在の作業状況を聞く。 ② 戸別訪問をしているのか。何のため、いつまでに、誰が、何戸の予定か。 ③ 意見書の提出者、換地修正した人への通知資料、方法、時期はいつか。 ④ 2 次換地設計（案）決定の通知書類、方法、時期はいつか。	3 月 5 日

16 人目

13 番

濱 中 俊 男  
(55 分)

- ⑤ 2 次換地設計（案）決定に対する、意見書の扱い方を聞く。
- ⑥ 2 次換地設計（案）には多数の反対署名が出されている。関係住民と話し合いの場をつくる時ではないか。
- ⑦ 事業計画変更の内容、作業手順、期間を聞く。
- ⑧ 都市計画決定変更の内容、作業手順、期間を聞く。
- ⑨ 新都市建設公社との契約がこの 3 月で終了。新規契約せず、事業も中止せよ。

(2) 情報公開について聞く。

- ① 黒塗り区画整理審議会議事録の開示を求め、昨年 10 月に情報公開・個人情報保護審査会で口頭陳述をした。換地案決定前に結論を出すべきではないか。
- ② 審査会からの答申を市はどのように受け止めるか。

## 2. JR 羽村駅の利便性を高めよう

- (1) 羽村駅の特急券売機が撤去され不便だ。設置要望をすべきではないか。
- (2) ホリデー快速は、桜まつりの時期だけでなく通年停車を求めたらどうか。
- (3) 青梅ライナーの停車希望が市民にあるが、JR に要望したか。
- (4) 6 月の臨時列車、青梅発「鎌倉あじさい号」は、他市は止まるが羽村市だけ通過と聞く。不公平ではないか。
- (5) 羽村駅舎自由通路整備計画の今後の見通しはどうか。

## 1. 中学校の柔道必修化について

- (1) 危険性について
  - ① 今までに起こった重大な事故について、分析し教訓としているか。
- (2) 指導について
  - ① 体育の教員への講習は、どのように行っているか。
  - ② 授業において、地域の柔道の指導者も補助的に生徒の指導をできないか。
- (3) 柔道の時間数について
  - ① 1、2 年生の時間数は。
  - ② 選択する場合の 3 年生の時間数は。
- (4) 「指導事例集」を基として、具体的に各学年ではどのように指導するのか。
- (5) 生徒が成長する上において、柔道等の武道を必修とすることが、教育上どのような意味を持つと考えているか。

3 月 5 日